

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会

関係府省庁連絡会議（第4回） 議事録

日 時：平成27年7月31日（金）12:00～12:10

場 所：総理大臣官邸4階大会議室

出席者：

議長	内閣官房副長官（事務）	杉田 和博
議長代行	内閣官房東京オリンピック競技大会・ 東京パラリンピック競技大会推進本部事務局長	平田 竹男
副議長	内閣官房副長官補（内政担当） 文部科学事務次官	古谷 一之 山中 伸一
構成員	内閣官房副長官補（事態対処・危機管理） 内閣審議官【代理出席】 内閣法制次長 内閣府事務次官 警察庁長官 金融庁長官 消費者庁長官 復興庁事務次官 総務事務次官 法務事務次官 外務事務次官 財務事務次官 厚生労働事務次官 農林水産事務次官 経済産業事務次官 国土交通事務次官 環境事務次官 防衛事務次官	高見澤 將林 梶田 好一 近藤 正春 松山 健士 金高 雅仁 森 信親 坂東 久美子 岡本 全勝 桜井 俊 稲田 伸夫 齋木 昭隆 田中 一穂 村木 厚子 皆川 芳嗣 菅原 郁郎 徳山 日出夫 関 莊一郎 西 正典

【杉田副長官】

ただ今より、第4回2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関係府省庁連絡会議を開催いたします。今日は御多忙の中ご参集いただき、大変ありがとうございます。

まず、会議の開催に当たり、遠藤東京オリンピック・パラリンピック担当大臣に御挨拶をお願い致します。宜しくお願い致します。

【遠藤東京オリンピック・パラリンピック大臣】

本日はありがとうございます。改めまして、6月25日に東京オリンピック・パラリンピック大臣を仰せつかりました遠藤利明でございます。まだ1か月ちょっとしかたっておりませんし、ぜひ、皆様からご指導いただいて、2020年東京オリンピック・パラリンピック、そして前年にあります2019年のラグビーワールドカップを大成功に導いていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

2020年のオリンピック・パラリンピックの成功の条件は3つあります。1つは安定した運営。もう1つはやはり（日本の選手が）メダルを取れなくてはダメだなと。そして何よりもレガシーをしっかりと残すこと。この3つが成功の条件になると思いますし、同時に東日本大震災の復興を世界人達にしっかりとその努力を見ていただくと。またレガシーとしてもそうですが、将来ユニバーサルデザインの社会をしっかりと作っていく、そのためのバリアフリーなどいろんな施設整備を含めて、取組を進めていくということが本当に大事なのかなと思っております。

もう1点は、私も東北（出身）でそういう思いがあるのですが、どうしても東京に全部集中してしまう。特に職人さんが福島、あるいは宮城や岩手からいなくなってしまう、そういう心配もありますので、このオリンピック・パラリンピックを東京オリンピック・パラリンピックではありますが、「日本オリンピック・パラリンピック」にしていきたい。そういう意味でも、皆様からご協力いただきたいと思いますと思っております。

この大会の成功の実現に向けまして、関係者の意見を幅広く聴取し、早急に特別措置法に基づく基本方針の策定を進めたいと思っております。今後、各府省庁の皆様に対しても、私から直接ヒアリングを実施する時もあるかと思っておりますので、関連する取組について、積極的に提言いただきますように、お願いいたします。

また先般、28年度予算の概算要求基準が閣議了解されました。各省におかれましても、28年度に必要な関連施策について所要の概算要求を行っていただきたいと思いますと思っております。私としても、関連する施策の実現に向け、所要の予算が確保できるようしっかりと取り組んでまいります。

皆様におかれましても、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会の成功、そして2019年のラグビーワールドカップの成功に向けて、一層のご協力をお願いいたします。

[遠藤大臣、プレス退室]

【杉田副長官】

それでは、議事に入ります。

政府の取組事項の進捗状況について、平田事務局長より説明をお願いします。

【平田事務局長】

《政府の取組事項の進捗状況について》

資料1をご覧ください。こちらの資料は2020年東京大会に向けた各府省庁の取組事項の進捗状況について、先日開催されました推進本部の第1回会合において報告されたものでございます。この関係府省庁連絡会議も推進本部の下に開催する建付けにさせていただいております。

まず、1ページの「1. セキュリティ・安全安心」についてはセキュリティ幹事会など、テロ対策、サイバーセキュリティ対策等の検討体制を強化しております。3ページになりますが、感染症対策についても強化をしており、これらに万全を期してまいります。

3ページ中程の「2. 復興・地域活性化」については、復興の世界への発信や、「ホストシティ・タウン構想」、事前キャンプ地の募集を推進しております。

同じく3ページの下にある「3. 輸送」については、首都圏空港の機能強化、大会関係者や観客を円滑に輸送するためのオリンピックレーン・パラリンピックレーンの具体化に向けた検討などを加速しております。

5ページの「4. 外国人旅行者の受入」については、多言語対応の強化や無料Wi-Fi（ワイファイ）環境の整備などを進めております。

6ページの「5. バリアフリー」については、大会に向けたバリアフリー化を図るためのガイドラインの策定、ICTを活用した行動支援の検討などを進めております。

7ページの「6. スポーツ」については、競技力の向上、スポーツを通じた国際貢献の取組を進めております。また、新国立競技場については、総理のご指示により、7月21日に設置された遠藤大臣を議長とする「整備計画再検討のための関係閣僚会議」の下で、新しい計画づくりに取り掛かっております。

8ページの「7. 文化・環境等」については、政府における文化プログラムの推進やアスリート・観客の暑さ対策の検討などを進めております。

《政府の取組事項の進捗状況に係る工程表について》

続きまして、資料2の27ページをご覧ください。これを例に、政府の取組事項の進捗状況を工程表にしているものにつきまして、27ページの26番「大会に向けたアクセシビリティの実現」というところで説明をさせていただきたいと思っております。

競技会場やこれらにアクセスする公共交通機関等のユニバーサルデザイン化や「心のバリアフリー」の実現を図るため、大会組織委員会、東京都、国が主催する「アクセシビリティ協議会」を昨年2014年11月に設置しております。同協議会においては、関係自治体や障害者団体等の参画も得て、国際パラリンピック委員会（IPC）から提示されたガイドラインを踏まえまして、東京大会に向けたガイドラインの策定に向けて検討を行っているところでございます。特に、エレベーターの大きさ等、建築物の設計段階で反映すべき項目については対応が急がれることから、今年4月にハード面について、暫定基準を先行してとりまとめ、IPCに承認申請を行ったところでございます。今後は、設備・備品等の残りのハード面の項目や接遇等のソフト面の項目について、

来年春頃を目途にとりまとめ、全体として IPC へ最終承認申請を行う予定としております。ガイドラインについては、競技会場や公共交通機関などに反映させる必要があることから、今年度には競技会場ごとの個別調整や会場へのアクセス経路の選定を開始する予定でございます。

以上があくまでも一例でございますが、50余りの「政府の取組事項」を工程表として整理させていただいております。その全ての項目ごとにしっかりと進捗管理していくことが、大会の円滑な準備に欠かせません。このため、「政府の取組事項」の進捗状況及び工程表については引き続きフォローアップさせていただく予定でございます。また、大臣が先ほど申し上げましたように、今後の基本方針の策定に関しまして、各省庁の関係の皆様から直接お話を聞かせていただく機会がございます。何卒、宜しくお願い致します。ご協力をお願いします。以上でございます。

【杉田副長官】

只今の説明に関連して対して御質問等があれば、御発言をお願い致します。

特に無いようでございますから、続いて文部科学省から「ラグビーワールドカップ2019の準備状況について」ご説明があります。

【山中文部科学事務次官】

参考資料2をご覧ください。ラグビーワールドカップが2019年に開催されるわけですが、開催都市につきまして、今年3月に決定したところですが、新国立競技場については、(整備計画)見直しの指示を受けまして、現在開催の会場変更ための調整を関係者間で行っているという状況でございます。

2019年の9月～10月というのがワールドカップの開催期間でございますけれども、それまでにキャンプ地等、いろいろな調整が必要になってまいります。関係府省庁の皆様においては、2019年のラグビーワールドカップの成功に向けてのご協力を宜しくお願い申し上げたいと思います。以上でございます。

【杉田副長官】

ありがとうございました。

時間の制約もありますので、発言はここまでとさせていただきます。

本日の会合はここで閉会とさせていただきたいと思っておりますけれども、もう2020年の東京大会まで5年を切っているわけです。常に進捗状況を把握しながら、きちんとフォローしていくということが大変大事であるというふうに思います。我が国の名誉にかけても、きちっとした大会にしなければいけないと思っておりますので、引き続き宜しくお願い致します。

それでは、これで本日の会合は終了いたします。ありがとうございました。

以上